

上越ケーブルビジョンFMじょうえつ
令和6年度
第1回放送番組審議会 議事録

開催年月日 令和6年7月10日(水) 10:30~11:30
開催場所 上越ケーブルビジョン本社
出席者 委員数5名 出席委員数4名
審議委員 松屋 徹 委員長、鈴木 陽一 副委員長、保坂 一八 委員
高橋 朋美 委員
JCV メディアセンター担当取締役・部長 沢田真紀
メディアセンター課長代理 岩崎勝洋、メディアセンター 小林由香里

1 開会

2 挨拶 上越ケーブルビジョン 担当取締役部長 沢田真紀

3 議題

(1) 番組について

(a) 公開生放送「防災フェスティバル in 道の駅あらい」

(b) 夕方ラジオ「ふるふる」

(2) その他

(a) 親子ラジオ工作教室

4 議事の概要

(1) について

(a) 公開生放送「防災フェスティバル in 道の駅あらい」

概要 6月1日(土) 午前11時~午後1時

道の駅あらいで行われた「防災フェスティバル」の会場に特設スタジオを設置し、2時間の公生放送を実施。

(b) 夕方ラジオ「ふるふる」

概要 平日午後4時~午後7時生放送

繋がる・繋げる地域情報のプラットフォームをテーマに、天気・交通・地域の話や行政のお知らせを、音楽とメッセージを交えながら進行。4月より月曜パーソナリティを変更し、新たなリスナー層獲得を期待している。

5 審議内容

(a) 公開生放送「防災フェスティバル in 道の駅あらい」

①(審議委員) 「道の駅」の紹介が少なかった。もっとあってもいいのでは。

②(審議委員) 抜粋したところだけしか聞いていないからか、あまり防災らしさを感じなかった。「防災フェスティバル」に変わった経緯は。

- ③（事務局） 1月1日の地震を受けてイベントのタイトルが変わり、番組のタイトルも変えた。イベント会場の紹介のほか、関係機関との訓練放送も行った。
- ④（審議委員） 携帯トイレの話は頭に残った。パーソナリティが自身のものを持ってきて紹介していたのは流石だと思った。

(b) 夕方ラジオ「ふるふる」

- ①（審議委員） 雨の日のメッセージテーマについて、メッセージが色々でなるほどと思うメッセージに対して上手にこたえていた。
- ②（審議委員） パーソナリティの声が心地よく寝そうになった。
- ③（審議委員） ふるふるには根強いリスナーがいるんだなと思った。今度番組にメッセージを送ってみようと思う。
- ④（事務局） スタジオがガラス張りになっているので、リスナーがスタジオ前に見学に来ることもある。

(2) その他

(a) 親子ラジオ工作教室について

概要 8月10日（土）9:00～12:00 JCVで開催。

上越・妙高市内の小学5,6年生12組25名が参加予定。

ラジオ工作とラジオ番組への出演、会社見学。

- ①（審議委員） 子どもたちがラジオに触れるきっかけになるのでいい機会だと思う。
- ②（審議委員） 会社見学できるだけでもいい。興味深い企画。
- ③（審議委員） アナウンサー体験など触れ合う機会があれば、大人も番組を身近に感じるができると思う。
- （事務局） 新棟では見学コースなども考えている。

6 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法

- ①事務所への備え置き
- ②自社ホームページ (<https://www.jcv.co.jp/>) への掲載